

鹽竈の記憶

夕日が杉の木 斜めに染め
石段の上 影を落としてる
遠くなってゆく
昼のざわめき

2010年の記憶の中
幾度か訪れた神社のそば
昔ながらの茶屋
今もあるだろうか

震災前 鹽竈の夕方
ただ静かに その日が終わってた

潮風の香りを身体中 ほんのりと感じて
苔むした灯籠に“守られてる”気分思い出す

鳥居の赤は景色に溶けて
長い歴史の深さを語る
静かに夜の
火を灯すように

2010年のあの夜は
ちょうど行事が催されてた
降りた町から
光る石段

震災前 鹽竈の寿司屋
熱いお茶を ゆっくり飲み干す

一日の疲れを身体中 心地よく感じて
照らされた参道に“守られてる”気分思い出す